

学校新聞



北美六ツ



選手激励会 決意の言葉



無敵のサッカー部 市長杯ゲット！



すばらしいスピード&突破力！



普段は笑顔、試合は真剣な表情の卓球部！

認め合う仲間

校長 天野 孝志

六月三十日から学校ホームページの「活動の様子」コーナーで、「認め合う仲間」今日の授業から」というページを連載しています。各クラスの授業を訪問し、一日の授業の中で素敵だなと感じた部分を切り取ってお知らせしていきます。毎回三百人前後の方がこのページを見てくださっていて、やりがいをもって私も配信していきますので、ぜひご覧ください。

本年度の教育目標は、前にもお伝えしたように「全ての生徒が安心して学び合う学校をみんなで作る」ということです。この中にある「安心して学ぶ」というところが更新されています。授業で、「安心して学び合う」という言葉にはどんなことが必要でしょうか。授業を見ていて私が気付いたのは、次の四つです。

- ・ 言ったことを否定しない（認め合う）仲間がいること。
- ・ 分からない時に「教えて」と気軽に言える仲間がいること。
- ・ 「分からないところはない？」と聞いてくれる仲間がいること。
- ・ 全員が分かるまでとことん教え合おうとする仲間がいること。

こういう仲間がいるところでは、間違えたり失敗したりしてもそれを学びに変えていこうとするパワーがあるし、そこから学ぼうとする目の輝きがあります。笑顔もいっぱいあります。「認め合う仲間」が学校中にあふれ、力を合わせてつくっていく幸せを共有したいです。

部活動を終えて

走る楽しさ

男子陸上部 今瀬颯一朗

僕は長距離をしている。ほとんどの人は、長距離という言葉だけを嫌になるだろう。僕も最初はそうだった。しかし、そんな長距離も先輩や同級生、後輩と走っていると楽しくなってきた。そして、練習を重ね、大会で結果が出るようになってからは、もっと速く走りたいという気持ちも強くなってきた。この三年間で、走る楽しさ、やりがいを知ることができた。先生方や仲間、家族に感謝し、これからも練習を重ねて結果を残し、恩返しをしていきたい。

この仲間に出会えて

女子陸上部 新開 愛純

私たちは、きつとこの二年半を振り返った時、楽しかっただけで終わる人はいないと思います。全員が思うような結果が出せなかったり、試合に出ることができなかったりと、たくさん悔し涙を流してきました。その度、それでも諦めずに練習している仲間を見て、立ち上がる姿を見たとき、私は、「このメンバーで笑って終わりたい」そう思いました。そして、その目標を達成してく

れたこのメンバーは、私にとって最高の仲間だなと思いました。



経験

男子バスケットボール部 橋口 遥飛

僕たちの目標は、東海大会出場でした。しかし、市長杯は二回戦敗退という悔いが残る結果になってしまいました。試合に負け以上悔しいのは、いつもの自分たちのプレーが相手への警戒心から全員の実力が発揮できませんでした。本番に実力を発揮できなかった意味がありません。今回の試合で、強い精神力と冷静な判断で勝ち負けが決まることを学びました。この経験をこれからの受験や勝負時に生かしていきたいです。

最高の試合

女子バスケットボール部 三浦 俐咲

最後の試合は二点差という悔しい結果で負けてしまいました。接戦だったからこそ一本のシュートが大切で、点が決まるたびにチーム全員で喜びました。一人一人心残りがある場面があるかもしれないですが、私はチームみんなで戦えた最高の試合だと思っています。

少ないメンバー

男子バレーボール部 脇 将之

僕が部活に入りたてのころは、二、三年生の部員数も少なく、本

当にこの人数でやっていけるのかと思っていました。しかし、今の僕たちがすぐ成長できたのは、技術やよいプレーができたときの楽しさを教えてくださった顧問の先生方のおかげです。また、僕たちが目標に掲げている全国大会優勝を成し遂げるための努力をしてきた、自分たちのおかげでもあると思っていま

仲間のおかげ

女子バレーボール部 塩崎 麻乃

いつも一緒に笑い合っていて、支え合ってきた大好きな仲間。当たり前の毎日で気付くことができなかったけれど、引退をし、改めて仲間の存在は大きく、この仲間がいたから頑張りが続けたことができたのと実感しました。苦しくて泣きたいとき、そばで寄り添ってくれた仲間、たくさんのお声かけ合っていた毎日、本当に楽しく、成長できることばかりでした。みんな本当にありがとう。

満足のいく終わり方

男子ソフトテニス部 深谷 壮志

西三大会まであと一歩届かなかった市長杯個人戦。でも、不思議と悔しさよりも達成感があった。勝った試合、負けた試合、す

べて楽しく戦えた。二年余りの部活動で仲間と共に勝ち取った新人戦団体三位も、初戦敗退で悔しくて顔が上げられなかった個人戦も、ペアと仲間がいてくれたから分かち合えた思いがある。テニスが僕を成長させてくれた。先生方、先輩後輩、仲間、家族に支えられてこま

部活動の中で学んだこと

女子ソフトテニス部 廣山 心音

女子テニス部は決して強くない、結果を残すことはできなかったけれど、部活動の中でたくさん学ばせてくれました。中でも、諦めない気持ちが一番大きいと思います。思うようにプレーできない時、諦めずに何度も挑戦することで、自分自身の成長を感じ、達成感を抱きました。いつも私たちのために、ご指導してくださった先生は、どんな時でも優しく声をかけてくださり、仲間と一緒に頑張ったからこそ、このように感じる事ができたのだと思います。約二年半、本当にありがとうございました。部活動で学んだことをこれからの学校生活に生かして頑張っていきます。



悔しい結果

男子卓球部 芳我 聖輝

僕たちは、目標としていた西三大会に行くことができず、悔しい思いを残して引退しました。勝ったかった。このメンバーなら行けると思っていたけれど、現実には甘くありませんでした。

団体戦では全敗し、個人戦は多くの選手が二回戦へ行けましたが、そこまででした。他の部活が勝ち上がったことを知り、とても悔しかったです。だけど、後悔はしていません。大会では全員が全力で戦い、その結果の敗北です。

こうして引退した僕たちの次の目標は受験です。気持ちを切り替え、後悔のないようにしたいです。



最高の仲間にも恵まれて

女子卓球部 畔柳さくら

女子卓球部は、入った時から仲が良く、とても楽しく、明るい雰囲気です。部活をしていました。ライバルや他校の選手に負け、悔しい思いをしたときにも、励まし、支えてくれる仲間がいたからこそ、どんな時も乗り越えてくることができました。

一年生の時から目標にしていた西三大会出場も、いろいろな思いを共に味わってきたこの最高の仲間とだからこそ果たすことができました。本当に最高の仲間、先生方に恵まれ、最後まで

楽しく部活動ができたことに感謝しています。

悔しい思い

男子剣道部 塚 礼緒

僕は、小学一年生から剣道を始め、たくさん試合に負けたその度に、悔しい思いをしてきました。その中でも、市長杯はあまり実感がありませんでした。このチームで西三大会へ出場したいという思いは強く、みんな自信をもって挑んでいました。しかし、惜しくも届かずさまたまな思いが巡ってきました。しかし、僕たちは引退です。

成長した先

女子剣道部 中村 綾紗

夏は千本素振り、冬は追い込み稽古を行い、毎日限界を超え、成長してきました。また、本気になって取り組み、信じ合える最高の仲間にも出会い、心も大きく成長しました。「県大会出場」という目標を達成できたのも、部活を続けられたのも、大好きな先生や後輩、そして仲間のおかげです。一人では味わえない達成感や思いをたくさん経験することができました。

剣道部で学んだことを胸に、次のステージでも精一杯頑張っていきます。そして、これまで支えてくださった方々に、感謝の気持ちを伝えたいです。

野球ができることに感謝

軟式野球部 高岡 宙輝

この人数でやっていけるのか。僕たちが入部した時に一年生の人数をみて思いました。そんな中で、僕たちが成長できたのは、技術や野球の楽しさを教えてくださった顧問の先生方、西三大会への扉を開いてくださった先輩方、保護者の方々がいいたからです。

新チームになり、次は自分たちの力で西三に行き、県大会に行く。これを目標に必死に練習をしました。しかし、この目標を叶えることはできませんでした。最高の仲間と共に野球ができたこと、このチームの主将としてチームを引っ張れたことに感謝しています。後は頼もしい先輩たちに託します。

当たり前のことに感謝を

サッカー部 三浦 嵩真

部活動を終え、たくさんのごとを学んだ。その中の一つとして、「すべてのことが当たり前ではないこと。」に気づくことができた。

自分たちが、三年間最高の仲間たちとこうやって全力でサッカーに向き合うことができたことも当たり前ではないということだ。そこには支えてくれる家族や友人、たくさんの方が関わってくれている。

このことは、部活動だけのことではない。この部活動で学んだ当たり前のことに感謝の気持ちをもって、これからも過ごしていきたいと思う。

仲間の大切さと感謝

男子水泳部 恩田 拓摩

僕は、正直キャプテンになるとは思っていませんでしたが、選ばれたときは、「絶対に僕が引っ張っていく」という決意を強くもちました。途中でくじけそうになるときもありました。その度に、全員で支え合っていたからこそ、乗り越えられたのだと思います。

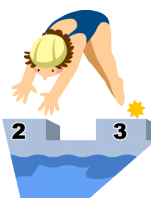
どの大会でも、支え合える仲間がいる、大会開催に尽力してくださる人がいる。当たり前のように当たり前ではない、そのようなことを学ぶことができた部活動でした。今まで支えてくださったすべての方々への感謝の気持ちと、一・二年生の活躍を心から願っています。

周りの支えの大切さ

女子水泳部 内山 朝陽

私は部活動を終えて、周りの支えがすごく大切だということに気付きました。キャプテンになったとき、しつかり役割を果たせるかどうか心配でした。例えば、励励会が緊張していたときには、友達が頑張ってくれて応援してくれました。また、最後の大会で気が張っていたときには、応援の声を聞いてリラックスでき、力を出し切ることができました。

これからも、何事にも周りの人たちの支えがあることに感謝をして生活していきます。



諦めなかったからこそ

柔道部 太田 剛地

僕ら柔道部員は二人です。二人で県大会に出場すると約束をしましたが、僕は西三大会で負けてしまったので約束を守ることができませんでした。とても後悔しました。同時に達成感も味わえました。それは、最後まで諦めずに戦えたからです。諦めてしまうと後悔しか残らないと思います。諦めなかったからこそ、自分のすべてが出せたという達成感が得られました。



このように、負けても自分の気持ちだけで、得られるものが違うと知っていることができませんでした。

表彰記録

- 【愛知県中学校選抜混成競技大会】
女子四種競技 新開 愛純 四位
- 【通信陸上競技愛知県大会】
女子砲丸投 新開 愛純 三位
女子四種競技 新開 愛純 四位
女子一五〇〇m 渡辺 愛来 四位
- 【吹奏楽コンクール西三河ブロック大会】
吹奏楽部 銀賞
- 【吹奏楽コンクール西三北地区大会】
吹奏楽部 銀賞
- 【愛知県合唱コンクール】
合唱部 金賞 中部決勝大会へ
(九月二五日 富山県)

市長杯

団体	個人	水泳男子	水泳女子	二〇〇m平泳ぎ	陸上男子	棒高跳	四×一〇〇mリレー	中村 敬悟	平田 快斗	一〇〇〇m	一五〇〇m	走高跳	棒高跳	陸上女子	砲丸投	四×一〇〇mリレー	宮原 凜々	野田 瑠華	砲丸投	剣道女子	中村 綾沙	柔道	五十五kg級	陸上男子	陸上女子	水泳男子	水泳女子	剣道男子	バスケット	
総合優勝	服部 羽恭 二位	内山 朝陽 一位	田中 汰知 一位	神谷 悠仁	今泉 心吾 二位	今泉 心吾 二位	今瀬 颯一朗 二位	神谷 悠仁 二位	竹内 大輔 三位	渡辺 愛来 一位	新開 愛純 一位	渡辺 凜咲 二位	新開 愛純 二位	足名 珠琴 二位	田中 善 一位	総合三位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	総合四位	ベスト八	ベスト八

愛知県大会

団体	個人	水泳男子	水泳女子	二〇〇m平泳ぎ	陸上男子	棒高跳	走高跳	走高跳	一年八〇〇m	陸上女子	砲丸投	砲丸投	剣道女子	中村 綾沙	卓球女子	太田 琴羽	柔道	五五kg級	六〇kg級	陸上男子	陸上女子	剣道男子	水泳男子	水泳女子	二〇〇m平泳ぎ	二〇〇m平泳ぎ	陸上男子	三年一五〇〇m	
総合二位	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場

東海大会

団体	個人	水泳男子	水泳女子	二〇〇m平泳ぎ	陸上男子	砲丸投	砲丸投	一年八〇〇m	柔道	五五kg級	棒高跳	陸上女子	砲丸投	一年八〇〇m	四種競技	柔道	五五kg級	陸上男子	陸上女子	砲丸投	一年八〇〇m	四種競技	柔道	五五kg級	陸上男子	陸上女子	砲丸投	一年八〇〇m	四種競技	柔道	五五kg級
出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場	出場

お願い致します

十一月三日に文化祭バザーを行います。制服等を販売するバザーを行いますので、ご家庭に着ることがなくなった六ツ美北中の制服やシャツなどがありましたら、持ってきていただけるとうれしいです。(ジヤージ以外)時間は指定しませんが、十月末まで、ご都合のよい時間をお願いします。
*今年度の一年生からジャージが変更されました。緑のジャージ以外のものをお願いします。

